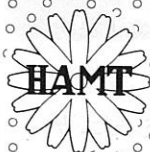


第339号

HYOGOニュース



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の内容

- 近畿チーム医療実践セミナー2017兵庫 開催される 1~2
- 第45回兵庫県医療職団体協議会合同研修会に参加して 3
- 《行事予定表》 4~5
- 《会員グルメ情報》・ご案内・《求人情報》 6~7

近畿チーム医療実践セミナー2017兵庫 開催される

平成30年1月28日に兵庫医科大学にて「近畿チーム医療実践セミナー兵庫2017」が開催されました。前週からの大寒波とインフルエンザ流行が重なり、当日含め多く受講者のキャンセルが出てしまいましたが、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。

本セミナーは、午前にコミュニケーションスキル・自己啓発向上の合同研修があり、午後からICT部門、糖尿病療養指導部門、NST部門の3つの部門に分かれて行われました。

今回のセミナーで講演を聞き、多くの方とディスカッションすることにより、臨床検査技師がより患者さんのためになるこれからのチーム医療の担い手になることを願います。

● 「ICT部門」に参加して

増田 朱美 (川崎病院)

「チーム医療」の一つであるICTに臨床検査技師として参加・活動しておりますが、「現状のままでいいのか？今以上に貢献できることがあるのでは？」という思いを胸に受講させていただきました。午前は、チーム医療実践に必須であるコミュニケーションスキル・自己啓発向上がテーマでした。コミュニケーションスキルは社会人として基本的に備えておくべきものです。しかし、ICTの一員としての活動している自分にとって最も苦手な領域でした。具体的なシナリオ(①改善前、②改善後)が、上司(看護師長)と部下(看護師)の対話方式で準備されており、受講者参加型でわかりやすく、「日常あるある」が含まれた内容で共感したり、即日常に適用できるものでした。午後は「抗菌薬適正使用支援プログラム(ASP)」に関するテーマで、今まさに注目すべきものです。次年度(平成30年度)の診療報酬改定の論点のひとつになっている抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の活動に臨床検査技師がどのように関わっていくか・・・？ASPを実践するために必要な項目の微生物学的検査・アンチバイオグラムに関する内容でした。ケーススタディをもとに各参加施設で日常で直面している問題や解決方法についてグループディスカッションを行いました。

薬剤感受性検査のセット薬剤や報告すべき薬剤は、どの資料・文献をもとに設定していけばよいのか等々の基本が盛り込まれた内容で日常業務に即活用できるものでわかりやすかったです。特に細菌検査が全て外注という施設では抗菌薬に関する考え方の指標がわかり、有用であったようです。報告薬剤の選別と正しい検査結果を伝えることは不適切な抗菌薬使用を減らし、適正な治療即ち患者様への貢献につながることへの重要性を再認識しました。

この研修を糧に臨床検査技師の活躍の場を拡充していこうと思います。医療実践に関するセミナーの開催数は少ないので、今後もこのような企画が増えることを希望します。

このたびは貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

● 「糖尿病療養指導部門」に参加して

西田 純子（明石市立市民病院）

1月28日（日）に行われた「近畿チーム医療セミナー2017兵庫」に参加してきました。

午前は合同研修として、鈴木孝先生（ジョンソン・エンド・ジョンソン（株））による「コミュニケーションスキル・自己啓発向上」のお話を聞きました。『7つの習慣』というベストセラーの本を引用した内容の講演でとても分かりやすく、また楽しく聞かせていただきました。仕事に必要なコミュニケーションだけでなく日常生活においてもとても役に立つ内容で深く心に残りました。是非『7つの習慣』を読んでみようと思いました。

午後は各部門（ICT、糖尿病療養指導、NST）に分かれての研修でした。私は糖尿病療養指導部門に参加しました。第1部では「活かしていますか？ SMBGの有用性」と題して、橋本尚子先生（姫路循環器病センター）から血糖変動に対する考え方や患者さんに役立つSMBGの活用などを詳しく説明していただき知識を深めることができました。第2部では4人1組のチームになりグループディスカッション形式で行われました。提示された症例に対してグループごとに話し合い発表していくのでさまざまな視点からの考え方が聞けて大変勉強になりました。また症例に対して各グループで話し合うので他施設の方とコミュニケーションもとれて楽しかったです。今回学んだことをしっかり自分のものにして今後の業務に活かしていきたいと思います。お忙しい中研修会の準備をして頂いたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



鈴木孝先生（ジョンソン・エンド・ジョンソン（株））による「コミュニケーションスキル・自己啓発向上」講義・実習風景



● 「NST 部門」に参加して

松窪 穂奈美（六甲アイランド甲南病院）

他職種の専門用語を学びNSTラウンドでの会話をより理解できるようになりたい、臨床検査技師の役割として大切なことを学びたいと思い参加しました。客観的栄養評価の基礎的知識からデータを見る前の必要栄養量またはその役割と症例について、三大栄養素の必要カロリー計算からどの部分が過不足かを理解することが重要と学びました。栄養評価と異常データを紐づけてとてもわかりやすく教えていただきました。誤嚥性肺炎が起こるプロセスについて難しく感じていましたが、咽頭の解剖、摂食・嚥下について教わり、嚥下の評価・診断で発声と構音を注意深く観察することが最も重要で、違和感に早く気付く事で今後生じるかもしれない誤嚥性肺炎や脱水・低栄養にも大きく影響する事がわかりました。経腸栄養剤の種類や特徴・投与方法の講義では、経腸栄養内容の計画から調整判断についての取り組み方を教えていただきました。消化器症状に関する薬剤を知ることはアセスメントを深めるうえで重要であり、その中でも下痢の症状が抗菌薬によるものか経腸栄養剤かの判断が薬剤中止・変更に大きく関わると学びました。リフィーディング症候群の早期発見には低リン血症に注意が必要となるため血清無機リン低値のパニック値設定を提唱されており、改めて臨床検査技師として検査項目の不足をフォローしNSTラウンドで報告する重要性を認識しました。まだまだ経験不足ですが、今回の講義を参考に広い視野でNSTに取り組み、他職種との関わりをより深めていきたいと思います。

第45回兵庫県医療職団体協議会合同研修会に参加して (2月18日)

兵臨技広報委員 増井 裕

第45回兵庫県医療職団体協議会合同研修会

知ろう! がんの全て

～予防・検査・診断・治療・終活～
がんを取り巻くさまざまなチーム医療を医療スタッフが伝える

第1部 12:00-14:20
医療職団体の「がん」への取り組みについて

第2部 14:30-16:00
基調講演「『がん』で死なないために」

日時 2018年2月18日(日) 12:00-16:00
会場 兵庫県看護協会ハーモニーホール (受付開始11:30)

参加費 無料

申込申し込みは不要、問い合わせは下記まで
(申込) 兵庫県医療職団体協議会 Tel. 078-351-5172
兵庫県がん対策基本法推進課 Tel. 078-351-5172



放射線技師会は「がん～診療放射線技師の関わり～」、栄養士会は「がん患者さんへの食事対応について」、理学療法士会は「がんリハにおける理学療法士の役割」、看護協会は「がんになっても働き続けられる支援」、作業療法士会は「がんリハにおける作業療法士の役割」、言語聴覚士会は「がんのリハビリテーションにおけるSTの役割」、臨床工学技士会は「抗がん剤治療に対する臨床工学的アプローチ」、歯科衛生士会は「歯科衛生士による周術期口腔機能管理」について、がんと言う一つの病気に対し、多職種が予防・検査・診断・治療・就職支援それぞれに関わっている内容がとてもよくわかりました。

後半は足立秀治先生(北播磨総合医療センター 健康管理センター長)の基調講演「『がん』で死なないために」が行われました。がんは2人に1人はかかる病気です。しかし、今では生存率もどんどん上がってきています。そのためには正しい情報を身に付け、医者が患者を治すのではなく、チームで医療を行っていかねばなりません。そのチームとは医療スタッフだけでなく、患者もその家族も含まれるとのことでした。

また、改正されたがん対策基本法についての説明がありました。第六条には国民責務があり、検診を受けるように明記されています。各都道府県別の検診率を表示していただきましたが、兵庫県はどのがんの検診率もワースト5に入っていました。兵臨技としてはこのことについてもっと県民のみなさんに啓発していかないといけないと思いました。



兵庫県看護協会ハーモニーホールに於いて第45回兵庫県医療職団体協議会合同研修会が行われました。当日寒さの厳しい中、170名(医療職:155名、一般市民:15名)の参加がありました。今回は放射線技師会が主催で臨床検査技師会・看護協会・歯科衛生士会・栄養士会・臨床工学技士会・言語聴覚士会・理学療法士会・作業療法士会の計9団体の参加となりました。この会も毎年参加する職種が増えています。

今年のテーマは“知ろう!がんの全て～予防・検査・診断・治療・終活～”でした。全ての職種に関連がある内容であったことから、例年になく多い参加者でした。

前半は各医療団体の「がん」への取り組みについて発表しました。兵臨技からは、水田俊平先生(県立尼崎総合医療センター)が「血液を用いた遺伝子検査によるがんの診断」について発表されました。一般参加者や他の団体にも分かるように最初は臨床検査とは・・・?から始まり、最近のトピックの遺伝子検査までを丁寧に講演されていました。今までは遺伝子検査は生検等でしたが、これからは血液を使って行えるようになっていくとのことでした。



水田先生



足立先生

会員グルメ情報

数珠つなぎ [14]

琉 隼人会員（県立姫路循環器病センター）

今回ご紹介させていただくお店は、姫路城の近くにある「ベーカリー燈（ランプ）」さんです。JR姫路駅から徒歩12分ほどのところにあり、レトロで隠れ家のようなお店です。お店に入る前から食欲を刺激する美味しそうな香りがしているので、買いすぎにはご注意ください。

早速店内に入ると、旬の食材を用いた焼きたてのパンが並べられており、温かみのあるランプの灯りで落ち着けるカフェコーナーも併設されているので購入してすぐ食べることもできます。さらに、注文を受けてから作ってくれるアメリカンスタイルのハンバーガーも絶品です。その中でも私がおすすめするのは「ダブルパティチーズバーガー」です。1つ1つ丁寧に焼き上げられたバンズに肉汁があふれるパティが2枚も入っており、某有名ハンバーガーチェーン店では2つ食べても物足りない大食漢の私ですが、ここのハンバーガーはボリューム満点で大満足のハンバーガーとなっています。

カフェコーナーでゆったりと食事をしていても良いのですが、これからの時期におすすめしたいのが、桜が満開の姫路城で花見をしながらの食事です。天気がいい日に姫路に立ち寄る機会がありましたら、ぜひベーカリー燈でハンバーガーをテイクアウトして満開の桜を眺めながら、溢れる肉汁に舌鼓を打つ最高の贅沢を味わってみませんか？



「ベーカリー燈」

住 所：兵庫県姫路市本町68番地
平和不動産ビル1F西

電話番号：079-284-9775

営業時間：8:30～19:00

(LO 18:00)

日曜日は18:00まで

定休日：月曜日・第2火曜日

ご案内**第6回西播地区研修会**

今回は、新年度を迎え新人の方や部署が移動になられた方など、基本的な内容としてお願いしました。第一線で働かれている方も、改めて勉強するよい機会になるかと思っておりますので、ご利用頂ければ幸いです。施設の垣根を越えて、地区全体で教育・研鑽できるシステムが構築出来ればと思考しております。医療に関わる臨床検査技師として、幅広い知識の習得にご利用頂ければ幸いです。

※今回は、広く研修会を利用して頂きたく技師会入会予定の方も歓迎いたします。

1. 日 時：平成30年5月6日(日) 9:00～13:30(8:30～受付開始)
2. 場 所：姫路赤十字病院 大会議室(管理棟5F) ※多目的ホールとは異なります。
兵庫県姫路市下手野1-12-1 (<http://himeji.jrc.or.jp/>)
管理棟1Fよりお入り下さい。入口ではカードキーが必要になります。
3. 内 容： 「一般検査の基本 ～当直の時に思い出して欲しい基礎知識～」
中野 理美 先生(姫路医療センター)
「生化学検査 ～当直中の新人からの問い合わせ～」
藤本 宏巳 先生(姫路聖マリア病院)
「血液検査の基礎について」
長栄 恵美子 先生(製鉄記念広畑病院)
「10sec.の心電図で何を読む? ～パニック値と対応を考えよう～」
河谷 浩 先生(姫路赤十字病院)
「採血室は、嫌な部署? or 楽しい部署? 自らの手でやりがいのある部署にしよう!」
松井 隆 先生(姫路赤十字病院)
「私達の目指す医療サービスを考える」
桶口 三香子 先生(赤穂中央病院)
質疑応答・意見交換

4. 参加費：会員：500円、非会員：1,000円 ※会員証をお持ち下さい。

5. 点 数：基礎20点

連絡先：姫路赤十字病院 検査技術部 住ノ江 功夫
isao.suminoe0302@gmail.com

～ 会場案内(姫路赤十字病院 管理棟 大会議室5F) ～

- 病院ホームページに記載はありません。救急入口向かいの棟1Fが入口になります。
- 不明な場合は、救急入口で管理棟の位置をご確認下さい。
- 8:20～9:30頃は1F入口にスタッフが居りますので、可能な限りその時間に入室下さい。
- (上記時間以外は、外線079-294-2251から内線3682に電話下さい。)
- 駐車券は減免処理しますので、必ず会場までお持ち下さい。

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●神戸市立医療センター中央市民病院

交 通：神戸新交通ポートライナー
「医療センター(市民病院前)」下車
徒歩5分
採用条件：パート勤務

業務内容：生理検査(心電図など)
※ご相談させてください
連 絡 先：078-302-4321
(臨床検査技術部 簗輪)

「病棟で必要な能力開発実践研修会」開催報告

～臨床検査の活用に必要な後工程の集中能力向上トレーニング～

平成30年2月11日・12日において「病棟に必要な能力開発実践研修会（検査後工程）」が滋賀県のエプソンMEP（アイメップ）において開催されました。

まず、1日目の開講挨拶では当会の横地副会長から、日臨床が病棟業務推進に力を入れる思いを熱く受講者に語り掛けることから始まりました。次に病棟業務に必要な法的知識を丸田秀夫常務理事に、安全な医療を提供するための具体的な取り組みに向けて（検査データの活用について）を千葉正志執行理事にご説明いただきました。2日目の講義はR-CPCと題して、信州大学医学部附属病院中央検査部の菅野光俊技師長に、実際の症例を用いてご説明いただき、検査データから病態を導き出させるスタイルで進めていただきました。受講者からは「とても勉強になった」、「説明の資料がほしい!!」など大変好評となりました。午後からは実践訓練Ⅰとして検査説明・相談の模擬演習でした。午前のR-CPC結果を踏まえた、実際のベッドサイドでの検査説明・相談演習で、菅野正明理事と菅野先生のご担当で進めていただきました。実践訓練Ⅱの移乗介助の実技では、ストレッチャーからの移乗介助を滋賀医科大学医学部附属病



実践訓練Ⅱ～移乗介助～

院看護臨床教育センターの小野幸子講師に、ベッド搬送からの移乗介助を同じく滋賀医科大学医学部附属病院看護臨床教育センターの多川晴美准教授に、それぞれ実際の経験に基づいた理論をご説明いただきました。1日目を締めくくるとナイトセミナーでは「病棟業務参入への中期目標実現のための1戦略法（業務量分析化）メソッド」と題して、横地副会長から熱い講演があり、受講者の側からもたくさんの質問等をいただき、時間を忘れるほど熱気あふれるナイトセミナーとなりました。

2日目の1コマ目の講義は、入院患者への輸血対応（説明・同意から副作用確認まで）を多川晴美准教授に、2コマ目の講義は患者持参薬・治療薬の作用機序と検査値へ与える影響（入院患者を対象として）を千葉大学病院薬剤部の横山威一郎室長に、それぞれご説明いただきました。午後は患者急変対応の講義を「危険の察知（ABCアプローチと生命維持）」と題して、（株）ファルコバイオシステムズ（草津総合病院ラボラトリー）の福田篤久技師から講義をいただき、その講義を基に実践訓練Ⅲの「患者シミュレータを用いた患者急変対応訓練」を国家公務員共済組合連合会枚方公済病院の敷主技師、大阪府三島救命救急センターの濱田宏輝技師、滋賀医科大学医学部附属病院看護臨床教育センターの多川晴美准教授に、2コマ目の講義は患者持参薬・治療薬の薬・治療薬の作用機序と検査値へ与える影響（入院患者



実践訓練Ⅲ：患者シミュレータを用いた患者急変対応訓練

を対象として）を横山威一郎室長に、それぞれご説明いただきました。午後は患者急変対応の講義を「危険の察知（ABCアプローチと生命維持）」と題して、福田篤久技師から講義をいただき、その講義を基に実践訓練Ⅲの「患者シミュレータを用いた患者急変対応訓練」を敷主技師、濱田宏輝技師、多川晴美准教授に見守っていただきながら、また「患者シミュレータを用いたBLS実技訓練」では、和泉市立病院柳井健一事務長、福田篤久技師の指導の下にそれぞれ進めていただきました。実際に病棟で遭遇するような症例や緊急事態でのBLS訓練には、吹き出す汗を拭いながら受講者全員で、真剣に取り組んでいただきました。

平成30年度からは「検査説明・相談ができる検査技師育成事業」の次のステップとして、日臨床が各都道府県に開催を依頼している「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」が実施されます。この講習会は臨床

検査技師が他職種の業務等を選び、多職種連携のチーム医療に参画し医療の質の向上に貢献することを目的としています。多くの会員の皆様にご参加していただき、各医療施設においては臨床検査技師が病棟などの様々な現場で貢献できるよう活躍の場を広めていただくことをお願いして、結びの言葉といたします。

担当執行理事 深澤 恵治

（会報JAMT Vol.24No.5 平成30年3月1日号）



「最先端」をカタチに。

全自動免疫測定装置

HISCL®-5000 NEW

医療機器製造販売登録番号：2852X10007000117

- 全項目17分の反応系で最大200テスト/時の迅速測定
- 化学発光基質CDP-Star®による高感度測定系
- 10～30μL/テストの微量検体
- 連続測定可能なコンティニアスローディングシステム
- 検体搬送ライン接続対応

HISCL専用試薬ラインアップ

肝炎・感染症	HBsAg, HBsAb, HCVAb, TPAb, HTLV-I Ab, HBeAg, HBeAb, HBcAb, HVAgrAb, HCVGr, 肝臓腫瘍マーカー*, HBcIgM*, HAVIgG*
甲状腺	TSH, FT4, FT3, TgAb*, TPdAb*, TRAb*
腫瘍マーカー	AFP, CEA, PSA, CA19-9, CA125, ProGRP, CK19F*, CA15-3*
遺伝子マーカー	TAT, PIC, TM, tPAI-C
内分泌	インスリン, LH*, FSH*, HCG*, E2*, プロラクチン*
心筋マーカー	NT-proBNP, トロポニンT*
その他	フェリチン, SP-A*

*：開発中(2013年1月現在)



We Believe the Possibilities.

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

製造販売元

シスメックス株式会社

本社 神戸市中央区臨海通1-5-1 〒651-0073
国内事業推進部 Tel 078-992-6124

www.sysmex.co.jp

支店 山崎 022-722-1710 北関東 049-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-775-8101
大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-411-4314
営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266
千葉 043-297-2701 静岡 054-237-4815 金沢 076-221-9363 京都 075-801-3196
神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

